

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎物理・化学実験		演習	遠藤 宏和・阪本 壮志・宮下 久美子・竹田 友和	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
講義で学んだ基礎知識に関する実験を行い、習熟度を深めることを目的とする。さらに、実験で得られる結果について予測・解析することで、主体的に学んでいく積極性を養うことを目指す。				
授業の到達目標				
理論と実際について理解し、得られた実験値について主体的かつ客観的に分析する姿勢を身につけることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション(1) 実験内容の説明			
2	オリエンテーション(2) レポートの書き方			
3	物理学実験(1)-1 統計処理実験			
4	物理学実験(1)-2 統計処理実験 まとめ			
5	物理学実験(2)-1 摩擦実験			
6	物理学実験(2)-2 摩擦実験 まとめ			
7	物理学実験 レポート指導・口頭試問			
8	物理学実験 口頭試問			
9	化学実験(1)-1 濃度調整実験			
10	化学実験(1)-2 濃度調整実験 まとめ			
11	化学実験(2)-1 沸点上昇実験			
12	化学実験(2)-2 沸点上昇実験 まとめ			
13	化学実験 レポート指導・口頭試問			
14	化学実験 口頭試問			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	60%	単元終了ごとにレポートを課し、その内容を評価する。		
小テスト				
平常点	10%	取り組み度合を評価する。		
その他	30%	習熟度合を確認するため口頭試問を実施する。		
自由記載	すべての演習に参加し、すべてのレポートを提出していることが成績評価のための前提となる。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				